

2026年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム(東証プライム市場：3694)

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競合状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

サービス区分

- ① アグリテック
- ② デジタルヘルス
- ③ デジタルコンストラクション
- ④ オフィスDX
- ⑤ マーケティングDX
- ⑥ 映像管理DX

- ⑦ OPTiM Biz

- ⑧ 上記以外のその他サービス

補足説明資料向け区分

- ① **X-Techサービス**
(AI/IoT/Roboticsサービス)

- ② **モバイルマネジメントサービス**

- ③ **その他サービス**

1

2026年3月期 通期連結業績予想 修正のお知らせ

2

2026年3月期 第3四半期決算レビュー

3

2026年3月期 通期 業績見通し

4

ハイライト（2025年3月期実績ベース）

AI開発投資により効率化が実現したこと、ストック収益の増加による営業利益の上方修正
 関連会社の通期業績の見通しに必要となる情報を把握できる状況となったことから、
 連結業績予想の経常利益・純利益の開示を行います

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率	(参考) 前期連結実績
売上高	116.4億円	116.4億円	0	-	105.8億円
営業利益	15.7億円	18.0億円	2.3億円	114.6%	19.5億円
経常利益	-	17.9億円	-	-	18.6億円
親会社株主に帰属する当 期純利益	-	9.6億円	-	-	11.7億円
1株当たり当期純利益	-	17.52円	-	-	21.39円

1 2026年3月期 通期連結業績予想 修正のお知らせ

2 2026年3月期 第3四半期決算レビュー

3 2026年3月期 通期 業績見通し

4 ハイライト (2025年3月期実績ベース)

売上高・営業利益が前年同期比20%超、経常利益が前年同期比30%超の成長

	2025年3月期 第3四半期 実績	2026年3月期 第3四半期 実績	実績 前年比	2026年3月期 通期業績 予想
売上高	68.3億円	82.1億円	120.2%	116.4億円
営業利益	10.9億円	13.3億円	121.9%	18.0億円
経常利益	9.3億円	12.6億円	134.6%	17.9億円
純利益	5.3億円	5.9億円	110.9%*	9.6億円

修正

開示

開示

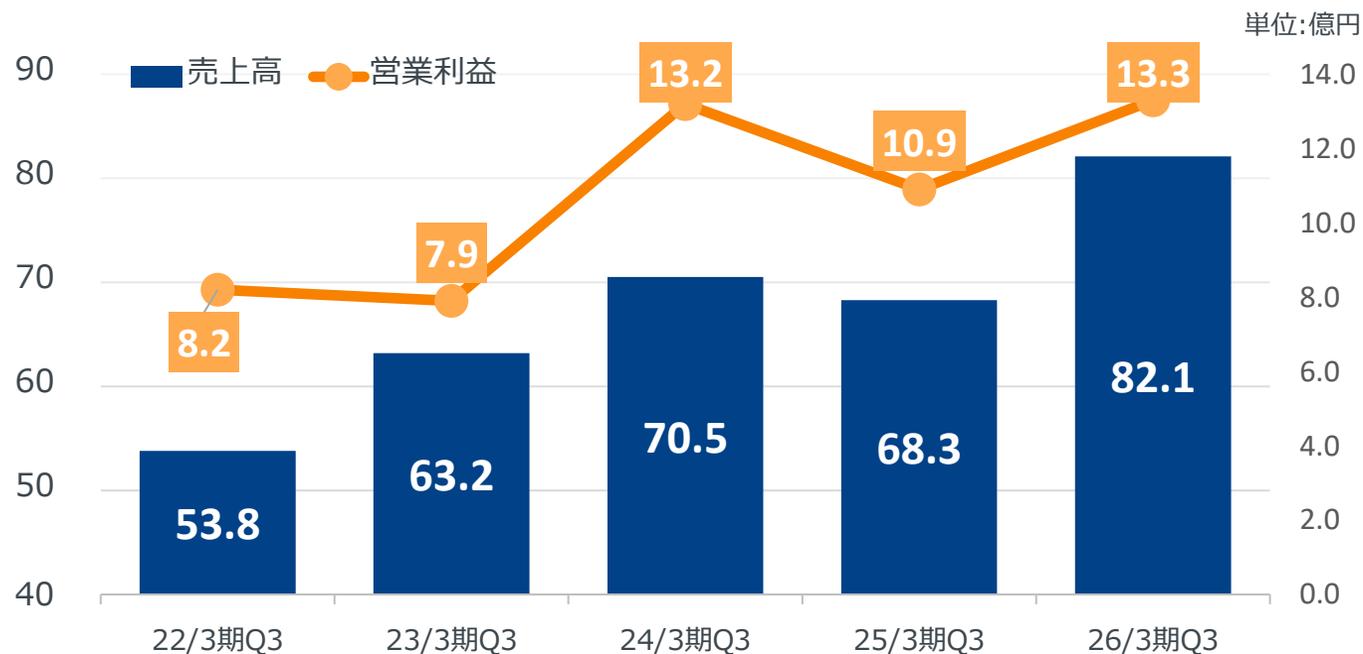
※親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に投資有価証券評価損1.7億円を計上したことにより、前年同四半期比10.9%の増加に留まっております。

2. 2026年3月期 第3四半期 決算レビュー

昨年度対比で20%超の増収増益

売上高 **82.1**億円、昨年度68.3億円より13.8億円増加 (YoY+20.2%)

営業利益 **13.3**億円、昨年度10.9億円より2.4億円増加 (YoY+21.9%)



売上高
82.1億円
YoY +20.2%

営業利益
13.3億円
YoY +21.9%

営業利益率
16.2%

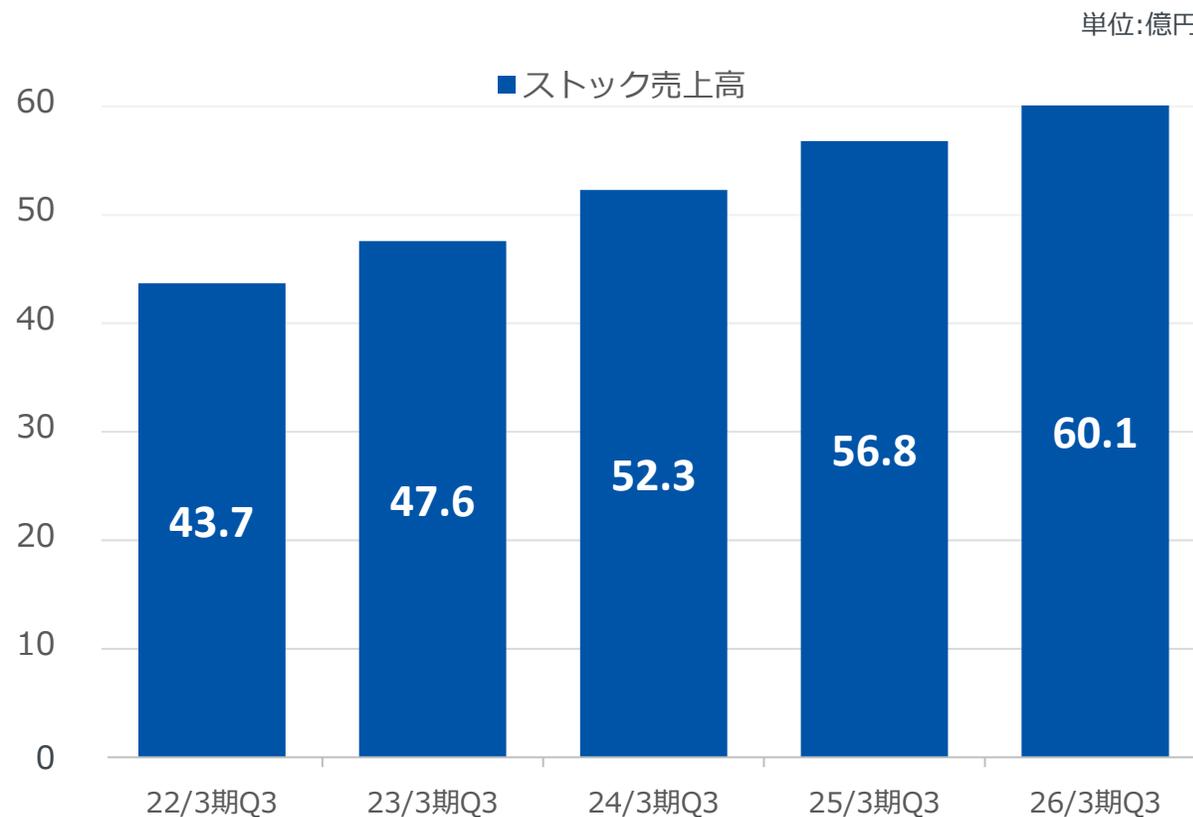
ストック売上比率
73.2%

ストック売上が昨年度に引き続き増加

売上高82.1億円の内、**60.1億円 (73.2%)** がストック売上
昨年度56.8億円から3.3億円増加 (YoY+5.8%)

ストック売上
60.1億円
YoY +5.8%

ストック売上比率
73.2%



経営成績の増収増益の主要因：

1. アグリテック分野の拡大：

スマート農業サービスが実証期を終え普及拡大期へ

2. ストック収益の積み上がり：

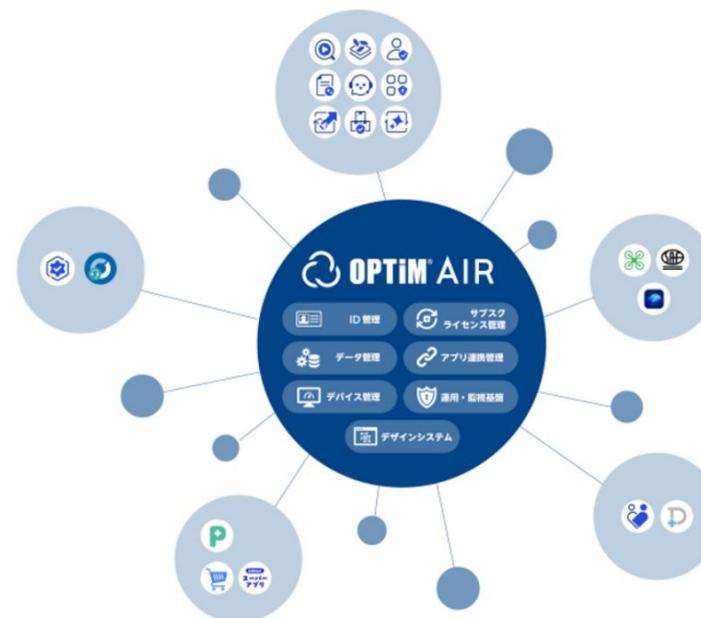
農業、建設、セキュリティ、AIサービスの各分野で、解約率の低いストック収益が順調に増加

3. 投資対効果の最大化：

AI利用の戦略的投資がソフトウェア開発の高度化・効率化として結実

成長戦略の基盤：新ブランド「OPTiM AIR」の展開

各事業の共通基盤である「OPTiM Cloud IoT OS」を、経営コンセプト“**ネットを空気に変える**”を体現する新ブランド「OPTiM AIR (OPTiM AI IoT Robotics Platform)」としてリブランディングいたしました。これまでもIoTを中心とした様々なニーズに応えるサービスを提供してまいりましたが、IoTに限らずAI・Roboticsの技術を活用した多様なサービスへと範囲が拡大したことから、共通基盤としての役割も変化しました。**AI・Robotics分野への対応強化**に伴いその役割を再定義し、これまで以上の**開発コスト抑制**と、当社が提供するサービスの**クロスセルの容易化**を同時に実現します。



飛躍的な成長を牽引する「X-Techサービス（AI/IoT/Roboticsサービス）」

アグリテック（農業DX）：

気候変動、米価高騰の影響も続き売上増加

フィジカルAIエージェントを通じて、必要な場所に、必要な分だけ、農薬や肥料を撒くという物理的な処置を施すピンポイント散布テクノロジーから始まった、ドローン、パイロットの効率的な運用計画をAIが立案し、実行をサポートする国内シェアNo. 1のドローン散布DXサービス「ピンポイントタイム散布サービス」が順調に成長しています。

昨今の**気候変動**による病害虫の増加や米価高騰という**社会情勢を背景**に、生産者の生産性向上ニーズが高まり続けた結果、**高いサービス継続率**を実現しています。また、同一のプラットフォームを使い、コメだけでなく、**大豆、麦、柑橘類などへの展開**も着実に拡大しております。今後も続く気候変動と社会情勢の変化という、生産者が迫られる大きなリスクに対応し続けられるサービス、テクノロジーとしてさらなる需要の拡大が見込まれています。

デジタルコンストラクション（建設・土木DX）：

ミリ単位の精度でのデータ取得を可能にする「OPTiM Geo Scan Supreme」に業界が注目

スマートフォン3次元測量アプリ「OPTiM Geo Scan」がライセンス数を順調に伸ばし、工事現場へのサービス浸透が進んでいます。ミリ単位の精度でデータ取得を可能にする新サービス「OPTiM Geo Scan Supreme」に、建設・土木業界の**最先端テクノロジー**として注目が高まり、成長を続けています。

高精度な三次元データは、建機の自動運転・遠隔操作における視覚となります。現場の物理的な変化をAIがリアルタイムで捉え続けることで、人の経験に頼らない自律的な施工現場の実現をリードします。これは、AIが物理世界の三次元構造を理解し、即座に設計データへと変換する**フィジカルAI**のセンシング能力の結晶です。

飛躍的な成長を牽引する「X-Techサービス（AI/IoT/Roboticsサービス）」

デジタルヘルス（医療DX）：

診療報酬改定を追い風に、生成AIによる「医療の働き方改革」の実装を加速

「OPTiM AI ホスピタル」：診療報酬項目に追加される見通しにより、導入メリットが鮮明に

厚生労働省の中央社会保険医療協議会において、**次期診療報酬改定の項目に生成AIの活用による業務効率化が盛り込まれる見通し**となりました。これにより、AIを用いた文書作成支援等が公的に評価され、**導入病院にとっては医師の負担軽減と診療報酬の獲得の両立が可能**になります。当社が提供する「OPTiM AI ホスピタル」は、まさにこの**政策方針に合致するサービス**です。

また、医学界で権威のある学会誌において、「OPTiM AI ホスピタル」活用による業務改善効果が論文として掲載されるなど、**技術面・臨床面での高い信頼性**が改めて評価されています。

オフィスDX：クラウドAI 文書管理サービス「OPTiM 文書管理」

生成AIを活用したAIサービスの展開が加速

電子帳簿保存法の改正などの**法規制対応を追い風**に、AIによる自動入力・管理機能が評価され、ライセンス数が拡大しています。

また、機能要望への対応スピードも評価されています。2025年11月18日には帳票書類の社外共有機能の提供を開始し、安全かつ簡単に社外共有できるようになりました。

15年連続国内シェアNo. 1、盤石な収益基盤の進化と新たな展開「モバイルマネジメントサービス」)

企業のスマホ・PCを一元管理する「OPTiM Biz」は、**3つの主要調査機関全てでシェアNo. 1**を獲得しました。この**圧倒的な市場占有率**が、当社の継続的なキャッシュフローを支え、ライセンス数も着実に増加させ、**安定的な収益基盤**を強固なものとしています。

2025年10月30日に発表したあらゆる情シス業務を効率化・自動化しセキュリティを提供するサービス「OPTiM Biz Premium」は、端末管理サービスと遠隔制御サービス、ID管理サービス、SaaS管理サービス、物品管理サービス、社内ITサポートAIエージェントが統合され**一元管理できる国内初のサービス**です。従来の端末管理から情シス業務全般の効率化・自動化へと提供価値を広げることで、**国産セキュリティサービス**として新たな展開が始まるとともに、**ARPUの向上**を目指します。

AIによる経営効率化：AI駆動開発の成果

当社はAIを提供する企業であると同時に、**AIを使いこなす企業**を目指しています。その取組みとして、全エンジニア向けに導入したAIコーディングアシスタントを活用し、設計・開発・テストの各工程で**大幅な効率化**を達成しております。人件費が高騰するIT業界において、AIによる生産性向上は利益に直結し、経営の効率化をもたらします。開発の効率化は当社のビジネスモデルにおいて**重要な戦略**となっています。

自己株式の取得を実施いたします

当社は、持続的な企業価値向上のためには「成長投資」と「株主還元」の最適なバランスが不可欠であると考えております。

現在は事業拡大フェーズとして成長投資を優先し、中長期的な事業成長を実現することが、最大の株主還元につながるという確信のもと事業を推進しております。一方で、資本効率の向上も重要な経営課題と捉えております。株主還元の優先順位については、機動的な資本政策を可能にする「自己株式取得」を第一とし、次いで「配当」と位置付けております。

この方針に基づき、今般、支配株主からの市場外取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得、およびその消却を実施することを決定いたしました。なお、当社の支配株主である菅谷俊二氏からは、当社の自己株式取得に応じる意向があることを確認しております。

本施策により、市場需給の影響を抑えつつ、確実に流通株式比率を向上させるとともに、一株当たりの持分価値を高めることで、全ての株主の皆様利益に資する還元を実現します。このような取り組みを通じ、個人投資家の皆様をはじめ機関投資家、海外投資家の皆様にも投資しやすい環境を整えていきます。

今後におきましても、キャッシュ・フローの状況や投資機会、株価水準等を総合的に勘案し、株主還元施策を継続的に遂行してまいります。

1 2026年3月期 通期連結業績予想 修正のお知らせ

2 2026年3月期 第3四半期決算レビュー

3 2026年3月期 通期 業績見通し

4 ハイライト（2025年3月期実績ベース）

創業来26期連続の最高売上更新と、未来への戦略的投資

売上高は116.4億円 (YoY+10.0%) の成長を見込みます。

将来の事業拡大と優秀な人材確保に向け、営業利益は15.7億円 (YoY-19.7%) を計画。

未来への強力な成長投資により、持続的な企業価値創造を目指します。

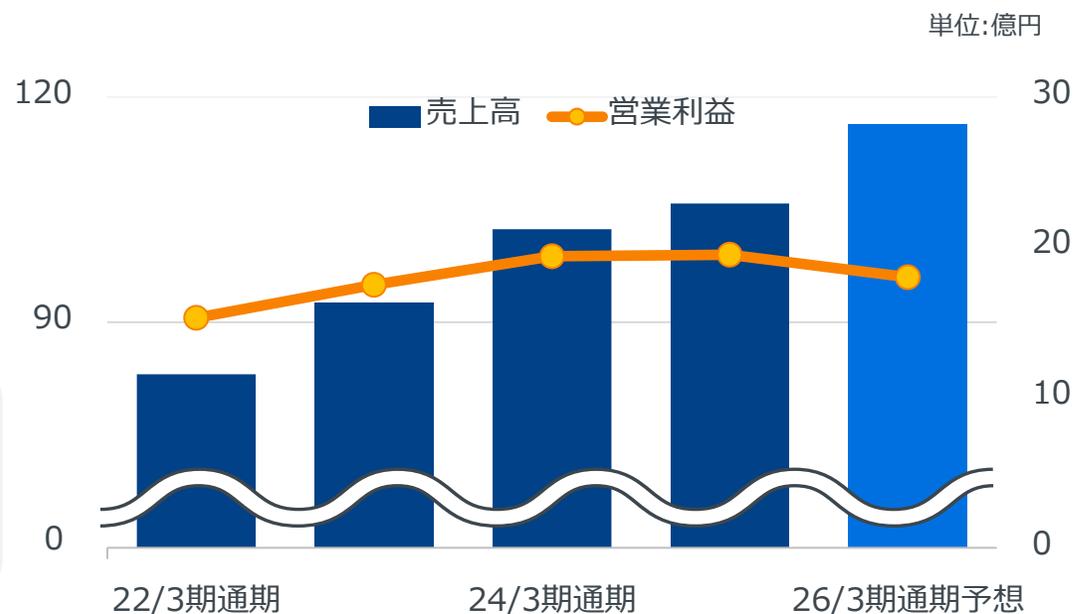
→ 2026年2月に営業利益を18.0億円 (YoY-7.9%) に修正しました。

売上高
116.4億円
YoY +10.0%

営業利益
15.7億円
YoY -19.7%

14.6%増

営業利益
18.0億円
YoY -7.9%



2026年3月期 連結業績予想ハイライト

- 創業来26期連続となる最高売上高更新を見込む
- 今年度も順調なモバイルマネジメントサービスの成長を見込む
- さらに、X-Techサービス（AI/IoT/Roboticsサービス）であるアグリテック領域のピンポイントタイム散布サービス、各種AIサービスなどの大幅成長を見込む
- 上記サービスなどの成長を加速させるために、積極的な投資を計画
- 特に2026年3月期には、技術革新が著しいAI分野に対する新サービス開発、研究開発体制の拡充、社内利用に積極的な投資を行う
- 2025・2026年、新卒2年連続初任給を大幅引き上げ決定など人材投資を積極的に実施
- 今年度も中長期の成長実現に向け積極的な投資を計画

- AI開発投資により効率化が実現したこと、ストック収益の増加により営業利益の上方修正（第3四半期追記）
- 関連会社の業績見通しがついたことによる経常利益・純利益の開示（第3四半期追記）
- 株主還元施策として自己株式の取得を実施予定（第3四半期追記）

1 2026年3月期 通期連結業績予想 修正のお知らせ

2 2026年3月期 第3四半期決算レビュー

3 2026年3月期 通期 業績見通し

4 ハイライト（2025年3月期実績ベース）

AIであらゆる産業の未来を創造する

私たちは、AI・IoT技術を社会の隅々に行き渡らせ、日本のあらゆる産業を根底から変革する「第4次産業革命の中心的な企業」を目指しています。

盤石な収益基盤と高い成長性を両立し、巨大な市場機会を掴む



盤石な収益基盤

ストック売上比率71.4%
安定したキャッシュフローを創出



高い成長性

X-Techサービス (AI/IoTサービス) が
全売上の44.6%を占める第2の柱へ急成長
X-Techサービス開始からのCAGR61.9%



巨大な市場機会

数兆円規模の「課題解決」市場で
DX需要を開拓



技術的障壁

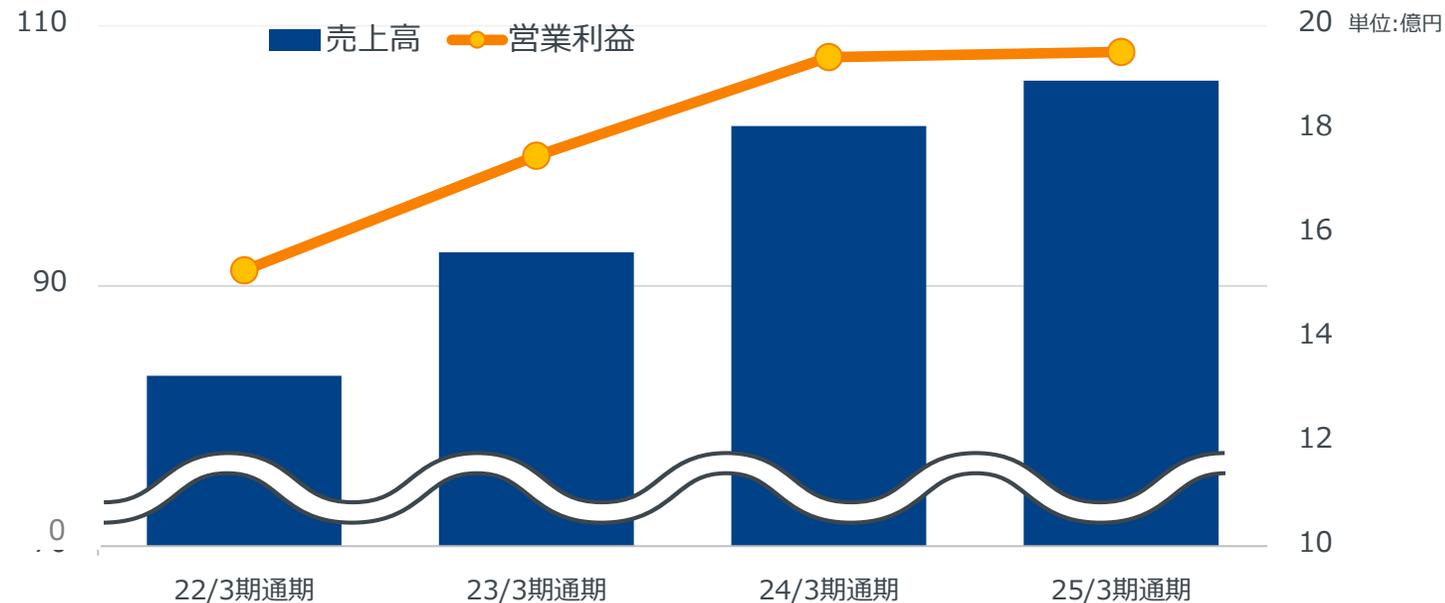
特許累計569件超
唯一無二の技術力で市場をリード

※2025年3月期実績

4. ハイライト (2025年3月期実績ベース)

安定性と成長性の両立

安定したストック売上を基盤に、成長著しいX-Techサービス (AI/IoTサービス) が牽引し、創業来25期連続で過去最高売上を更新。高い収益性を維持しながら、未来への投資を継続しています。



売上高
105.8億円
YoY +3.3%

営業利益
19.5億円
YoY +0.7%

営業利益率
18.5%
積極的な投資を行いつつも
高い収益率を実現

ストック売上比率
71.5%
安定した収益構造

※2025年3月期実績

成長を生み出す双発エンジン

当社の事業は、安定した成長と収益を生み出す「モバイルマネジメントサービス」と、
未来の飛躍的な成長を牽引する「X-Techサービス (AI/IoTサービス)」の2つのエンジンで構成されています。

安定成長収益基盤

モバイルマネジメントサービス

「OPTiM Biz」

日本企業のDXを支える、最も選ばれているデバイス管理プラットフォーム



国内MDM市場

14年連続 No.1

業界別 全20部門でもシェアNo.1

モバイルマネジメントサービス市場規模

TAM: 約280億円

(2028時点予想: 2024年度比較で1.5倍)

成長ドライバー

X-Techサービス (AI/IoTサービス)

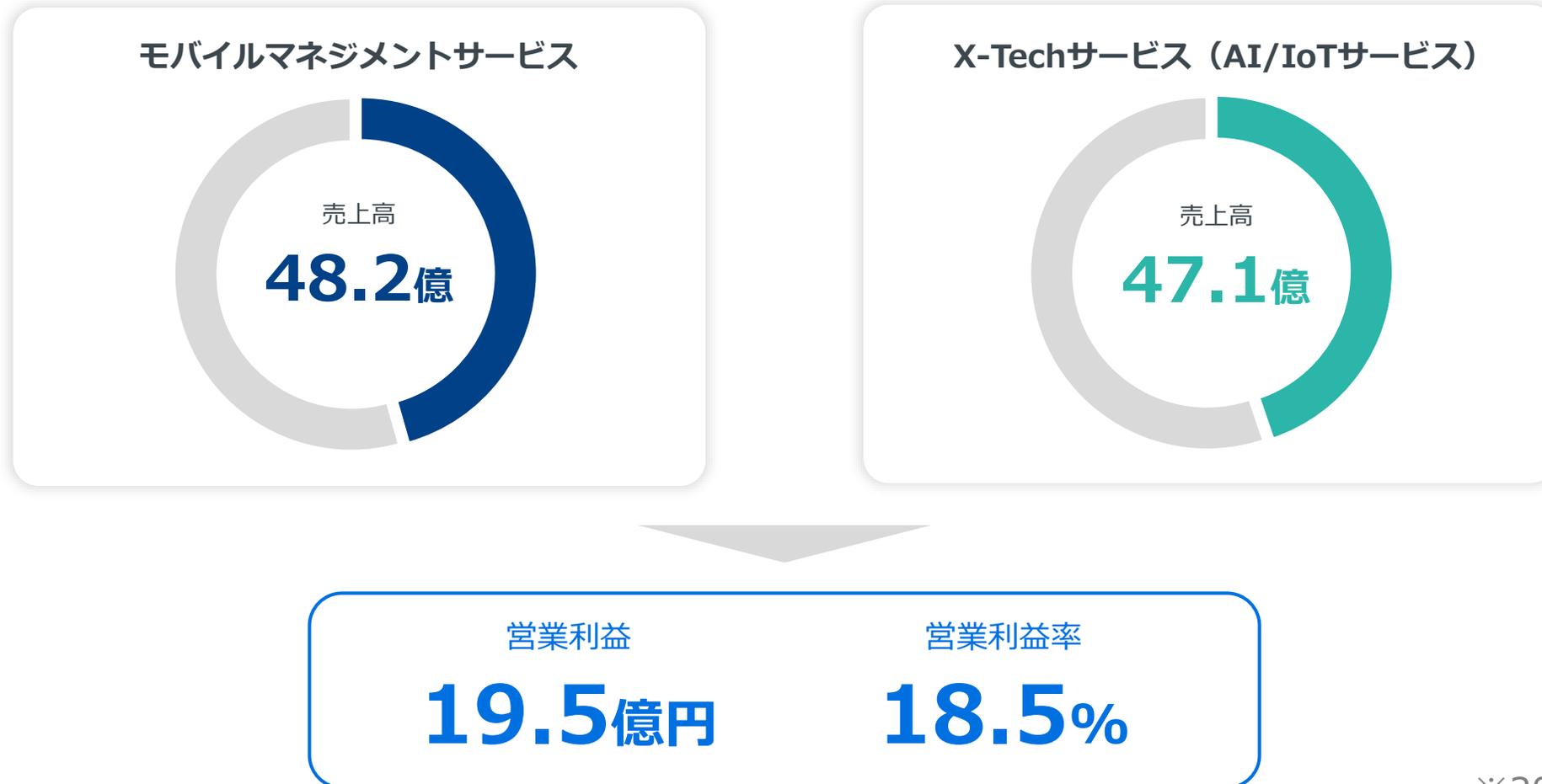
独自のAI/IoTプラットフォームで、農業・医療・建設など
日本の基幹産業の“未来”を創造する事業



※2025年3月期実績

2つの事業の成長が利益に繋がる

双発エンジンとなる2つの事業により、高い成長性と収益性を推進しています。



※2025年3月期実績

1つ目の成長エンジン：モバイルマネジメントサービス

【安定成長収益基盤】モバイルマネジメントサービス

売上構成比 **45.6%**



※2025年3月期実績

OPTiM Biz:

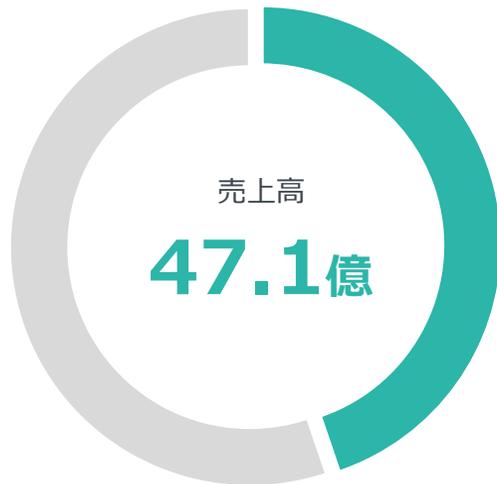
- 日本企業のDXを支える、最も選ばれているデバイス管理プラットフォーム
- スマートフォン・タブレット・PCなどのITデバイスをクラウドからセキュアに一元管理
- 複数の調査機関で最長14年連続シェアNo.1
- 企業のDX推進に不可欠なツールとして市場の拡大とともに安定成長

※2025年3月期実績

2つ目の成長エンジン：X-Techサービス (AI/IoTサービス)

【高成長ドライバー】 X-Techサービス (AI/IoTサービス)

売上構成比 **44.8%**



※2025年3月期実績

X-Techサービス開始 (2015年度) からのCAGR (年間平均成長率) 61.9%

- 独自の産業横断AI/IoTプラットフォーム「OPTIM Cloud IoT OS」を活用し、農業・医療・建設など日本の基幹産業の“未来”を創造する事業

アグリテック:

- 農業の全プロセス、栽培・加工・流通の各プロセスをスマート農業で効率化。食の安全保障をバックアップ
- ヘリ散布からドローン散布への移行が進む。ドローンAI農薬散布サービスで国内シェアNo.1 (2024年度: 約2.3万生産者、約2.3万ha、約11万圃場で導入)

デジタルコンストラクション:

- 世界初のスマホ測量サービスで市場をリード。一人当たりの業務範囲を拡げ人件費高騰に対する有力な対策を実現
- 国内全スーパーゼネコンが導入。グローバルでの利用も開始

デジタルヘルス:

- 病院向けAIエージェントの提供。人手不足に悩む病院の経営効率化、医師・看護師の働き方改革の切り札
- 文書作成などに関わる業務コスト削減50%以上。導入病院での利用率85%を超える

その他DX:

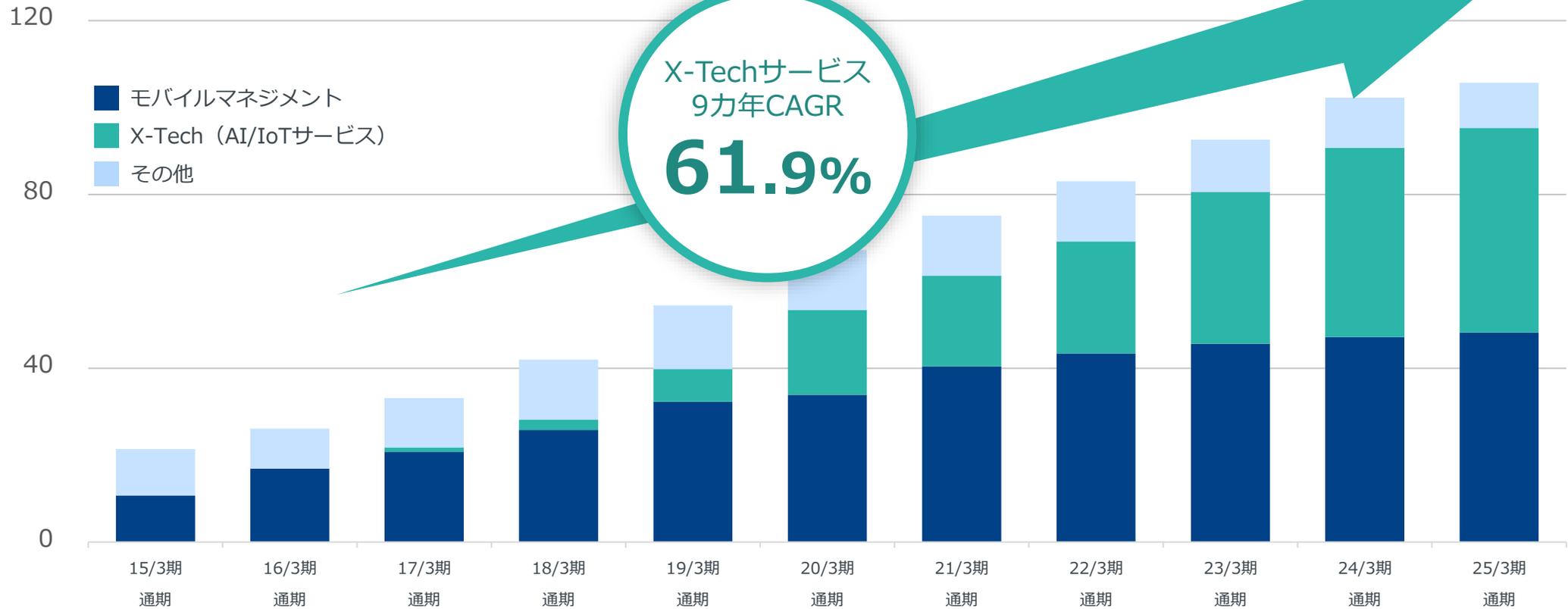
- オフィスDX、マーケティングDX、映像管理DXを推進

※2025年3月期実績

上場来の売上高の推移

売上高は創業来、每期最高値を更新し続けています。

モバイルマネジメントサービスが引き続き増加しつつ、X-Techサービス（AI/IoTサービス）が成長ドライバーとして大きく貢献しています。



※2025年3月期実績

揺るぎない競争優位性

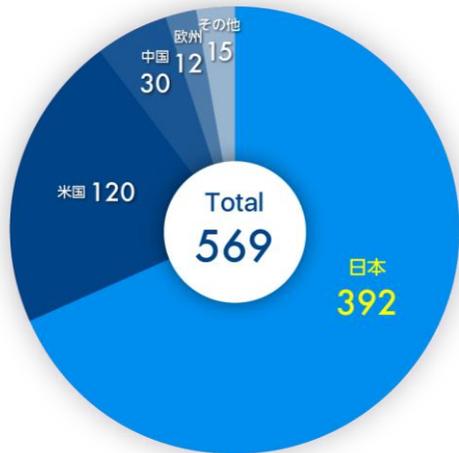
オプティムの提供する価値は、4つの強固な競争優位性によって支えられています。これらが他社の追随を許さない参入障壁を構築しています。



※2025年3月期実績

競争優位のキーとなる特許群

登録数



出願数



OPTiM Biz:

PCや各種IoT機器などのネットワーク機器から送信されるパケットを解析し、ネットワークに接続された機器を判別

登録番号: JP4855499 登録日: 2011/11/4

AI/IoTプラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」:

コンピュータシステム、API提供方法及びプログラム（あらかじめ定めた条件に基づき、最適なAI（人工知能）やAPIを自動選択する）

登録番号: JP6404529 登録日: 2018/9/21

アグリテック:

無線航空機、位置情報出力方法及び無線航空機用プログラム（ピンポイント農薬散布・施肥テクノロジーに関する基本特許）

登録番号: JP6326009 登録日: 2018/4/20

圃場における移動体の稼働を予測情報に基づき制御する情報処理システム特許について

登録番号: JP7132680 登録日: 2022/9/7

デジタルコンストラクション:

測定処理装置、方法及びプログラム（位置情報と3次元点群データを自動連携し、高精度3次元測量を簡単に実現する）

登録番号: JP6928217 登録日: 2021/8/11

平面図・横断面図をリアルタイムで作成する情報処理システム特許について

登録番号: JP7659954 登録日: 2025/4/10

デジタルヘルス:

個人情報に配慮した薬の服用情報収集（お薬アプリを介して、患者の実際の服用情報（用法・用量など）を個人を特定できない状態で収集）

登録番号: JP7253308 登録日: 2023/3/29

オフィスDX:

契約書管理システム、契約書管理方法、および契約書管理プログラム（契約書を解析、管理するAI・システム）

登録番号: JP6290459 登録日: 2018/2/16

マーケティングDX:

コンピュータシステム、空席検知方法およびプログラム（カメラ画像をAIが解析し、空席率に応じた割引率のクーポンを提供する）

登録番号: JP6246446 登録日: 2017/11/24

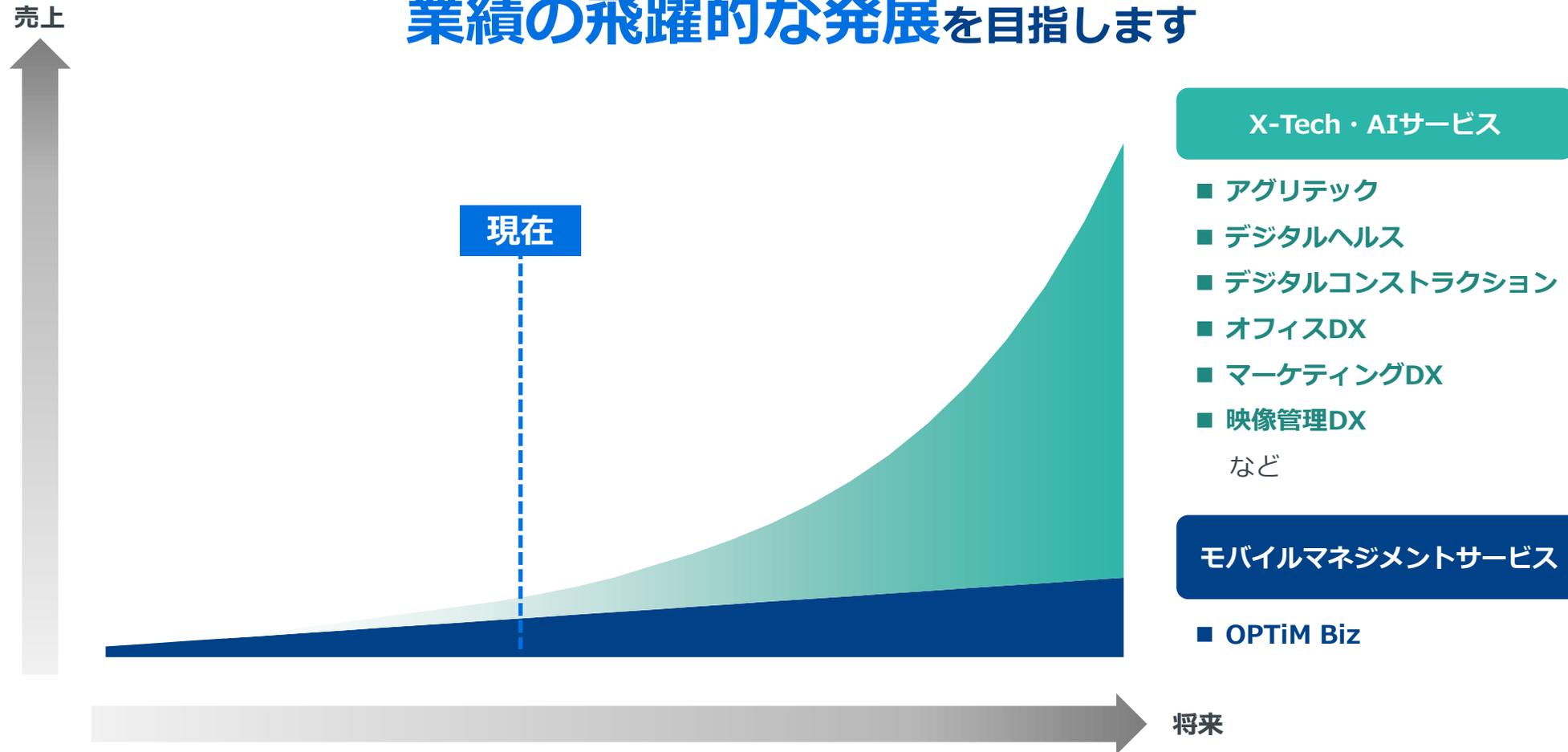
映像管理DX:

コンピュータシステム、振込詐欺防止方法及びプログラム（振り込み詐欺を防止する「ATMコーナー監視システム」）

登録番号: JP6959704 登録日: 2021/10/12

※2025年3月期実績

モバイルマネジメントサービスを着実に伸ばしつつ
DX・AX市場の急拡大を受け、X-Tech・AIサービスを大きく成長させ
業績の飛躍的な発展を目指します



The logo for OPTiM, featuring the word "OPTiM" in a bold, white, sans-serif font with a registered trademark symbol (®) to its upper right. Below the logo, the website address "www.optim.co.jp" is written in a smaller, white, sans-serif font. The background is a dark blue gradient with a complex network of thin, light blue lines and dots, resembling a molecular or data network structure.

OPTiM®
www.optim.co.jp